

医療福祉施設邸内社 —— 病院と高齢者施設の神社 ——

金 田 伊 代

京都大学大学院 人間・環境学研究科 共生文明学専攻

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

要旨 病気の治療は、古来から宗教と深い関係があったとされ、日本の歴史を見ても仏教やキリスト教は医療や福祉に携わってきていることが分かる。一方、日本の伝統的な宗教である神道では、仏教やキリスト教のように社会事業を展開してはいない。

全国の病院や高齢者施設の中には、「邸内社」として神社を有する施設がある。近代自然科学を前提とする近代医学と、神や靈魂の存在を前提とする神社は共存するのかを明らかにするために、本研究では全国の病院や福祉施設内に設置されている神社について、創設の経緯や実態について調査を行った。また、神社が病気や障害を持った人にどのような役割を果たしているのか、どのような役割を果たすことができるかという可能性を探った。

調査の結果、全国の医療福祉施設の邸内社が6社見つかった。これらの神社は、鎮守の杜のように、自然に触れることのできる環境、創設時を思い出す機会、祭りを通して施設に関わる人々をまとめる際の中心的役割、病気や障害を持った患者や家族、職員にとって祈りによる精神的な支えとしての役割、精神科治療にも結びつけることができるという役割があることが分かった。

これらの事例から、科学の領域である医療福祉施設と、いわゆる宗教の領域である神社は共存していることが明らかになった。また、生命が人為的なものではなく、自然や人智を超えたものとながっていることを無意識に想起させる装置としての役割も果たしている可能性がある。

キーワード：病院、高齢者施設、神社、邸内社

1. は じ め に

1.1. 研究の背景と目的

病気の治療は、古来から宗教と深い関係があったとされ¹⁾、日本の歴史を見ても仏教やキリスト教は医療や福祉に携わってきていることが分かる。一方、日本の伝統的な宗教である神道では「他宗教に比し劣勢である」²⁾と評されるように、仏教やキリスト教のように社会事業を展開してはいない。

全国の病院や高齢者施設の中には、「邸内社」として神社を有する施設がある。邸内社とは、屋

敷内に設置された社や小祠であり、「第内社」とも表記し、「邸内神祠」ともいう³⁾。本来神が鎮座していたところに邸が建てられてそうなったものや、氏神の分霊や尊崇する神の分霊を邸内に祀ったものなどがあり、一般には稲荷社などの例が多く、明治の社格制度のもとでは、通常社格を付与されなかった⁴⁾。会社や企業の敷地内や社屋に神社を祀る例は見られるが、なぜ医療福祉施設に神社があるのだろうか。

近代医学は生物医学モデル (Biomedicine) を理論体系としている。生命や病気を、物理・化学の概念と法則・理論だけで説明する方法、つまり、病気実体・病理過程・原因を、生物学的・物理学

的・化学的概念と理論を用いて説明し、それらの知見に基づいた治療法を指示する理論（モデル）である^{5,6)}。近代自然科学を前提とする近代医学と、神や霊魂の存在を前提とした神社は共存するのか。

本研究は、全国の病院や福祉施設内に設置されている神社について、創設の経緯や実態について調査を行う。また、神社が病気や障害を持った人にどのような役割を果たしているのか、どのような役割を果たすことができるかという可能性を探る。

1.2. 邸内社に関する先行研究

病院や福祉施設に設置されている神社について、管見の限りまとまった研究は行われていないため、企業の神社について書かれたものを見てみよう。次に紹介する書籍が出版されている。

日本では、会社や工場など、企業の敷地内に邸内社として神を祀っている例が全国的に見られる。企業の神社に関してまとめられたものとして、『企業の神社』⁷⁾という書籍がある。ここでは、全国から49例が紹介され、その実態や特徴について調査が行われている。

本書で、文化人類学者の鈴木満男は、企業にある神社は、企業の意思統一という目的に適応度が高いと述べている⁸⁾。経営者の立場から市川伊三夫は、日本企業には、会社の掲げる目標に対する全員の参加意欲や勤務態度などに独自性があり、全員の強い参画意欲は、一つの目標に向かって進む企業の活動にとって、隠れた大きな貢献をしていると指摘する。父母を誇り先祖を崇め、産土の神を敬う神道的な心は、企業の中にあっても創業を憶い、苦闘した先輩を憶う心につながり、それが一味違う強みのものになっているのではないかという⁹⁾。文化人類学者の宮永國子は、企業の生産性を高めるために、欧米では管理体制を強めることをしたが、日本では企業のために何かしようという動機づけに神社というものの性格が非常にうまく利用されているのではないかと述べている¹⁰⁾。

つまり本書では、企業の邸内社は、構成員をまとめたり、会社の掲げる目標に向かって進めるた

めの動機付けの役割を果たしており、潜在的には企業の創業者や先輩を思う心と結びついていると書かれている。

次に、現代社会と宗教を研究する石井研士の研究について見てみよう。石井は、『銀座の神々』¹¹⁾、『渋谷の神々』¹²⁾などの著書の中で、企業が祀る神社を取り上げ、都市化と宗教との視点から調査研究を行っている。

石井は、日本企業が神仏を祀る理由として、次の2点を挙げている。1点目は日本の宗教的伝統との関わりである。日本には、特定の生業が特定の神を祀るという伝統が存在し、それに倣い現在の企業や企業グループがそれぞれの企業の性格や契機から特定の神を祀っているという¹³⁾。

2点目は、日本企業の特質である集団主義によるものである。日本社会において集団主義を具体的に示してきたのは、地域共同体としての村や血縁関係からなる家であった。村では共同体のシンボルとして神社を祀り、家では構成員の結合のシンボルとして先祖が祀られ、墓が設けられた。日本の企業で宗教が説かれ、神社が祀られ、墓をもって物故者を供養するのは、組織の持つこういった集団主義の表出であるという¹⁴⁾。

石井は、都市が近代化や合理化のシンボルだとしても、都市は宗教を排斥しておらず、むしろ都市に溶け込んでいるように見えると指摘する¹⁵⁾。企業が稲荷や神社を祀り、手厚く祭祀を行っている姿は、行き過ぎた合理化への傾斜に対する無意識レベルでの反撥を物語っているにちがいないという¹⁶⁾。

次に、本稿に近接する研究としては、藤本頼生がハンセン病療養施設内に設置された神社について調査研究を行っている¹⁷⁾。ここで藤本は、全国に15施設あるハンセン病療養所のうち、8つの療養所内に神社が設立されており、全部で11社あることを明らかにしている¹⁸⁾。この11社について、ハンセン病療養施設名、所在地、開園年、神社名、創建（鎮座）年、現在について一覧表にして整理している。その中で、国立多磨全生園内の永代神社と国立駿河療養所内の駿河神社について詳述しており、歴史的な経緯と活動内容について調査を行っている。

その結果藤本は、ハンセン病療養所の入所者にとって、神社が第二の鎮守の森、守り神として創建、維持され、入所者の心の拠り所となってきた歴史があると述べ、コミュニティの中心としての神社の存在意義は大きく、入所者の側からの文化的・精神的な欲求にもとづいて創建・再興されたことを明らかにしている¹⁹⁾。

2. 研究 方 法

2.1. 調査対象

前述したように、全国の病院や福祉施設内に設置されている神社についてまとめて調査研究されたものではなく、唯一『企業の神社』の中で大阪回生病院の回生天満宮が取り上げられているのみである。そこで、筆者は新聞記事や web サイトを利用し、「病院」、「施設」、「高齢者」、「神社」をキーワードに検索した。その結果、全国で5か所の邸内社があることが分かった。さらに、研究者からの情報²⁰⁾による1社を含む、合計6社の所在が明らかになった²¹⁾。

そこで、各施設へ連絡を取り、現地調査及び、関係者からの聞き取り調査を行った。調査結果は事業の種類ごとに、病院（総合病院、精神科病院）、高齢者施設の順に記載した。調査内容は、石井や藤本などの先行研究の項目を参考にした。

これら6か所を施設名、所在地、事業の種類、運営主体、神社名、祭神、神社の創設年を記載し、

一覧表にしたものが表1である。

なお、本研究は2023年に刊行された「神道における医療福祉関連事業」²²⁾に継続する内容である。「神道における医療福祉関連事業」では、神社と関連する医療福祉事業について調査研究を行ったが、本研究は反対に医療福祉施設にある神社について調査研究を行ったものである。研究対象として病気や障害を持った人、すなわち医療福祉施設を対象としたため、本研究では病院のみならず福祉施設を含めた。

2.2. 調査方法

これら6社の詳細を知るために、文献調査ならびに現地での実態調査と関係者からの聞き取り調査を行った。その結果を次節に記載する。

なお、調査結果は事業の種類別に所在地の北から順に記載した。記載内容は、事業の概要（事業所名、所在地、事業の種類、運営主体、法人名、代表者、理念）設立の経緯（創設（認可）日、創設者、沿革）、現況（構造規模、延床面積、病床数、職員数）、さらに神社に関する項目を加え、神社の概要（神社名、祭神、神社の創設日、神社の創設者、例祭日）、神社の由緒、特徴について記した。

調査は2013年から2024年にかけて行われたが、本稿出版時に各施設に確認、修正を行い2024年時の最新の情報となっている。

表1 邸内社を有する全国の医療福祉施設とその概要

	施設名	所在地	事業の種類	運営主体	神社名	祭神	神社の創設年
1	北里大学北里研究所病院	東京都港区	病院	学校法人	コッホ・北里神社	ローベルト・コッホ 北里柴三郎	1911年 1931年
2	安城更生病院	愛知県安城市	病院	厚生農業協同組合連合会	更生神社	天照大御神 大己貴命 少彦名命	1940年
3	大阪回生病院	大阪府大阪市	病院	株式会社	回生天満宮	菅原道真公	1922年 以前 1982年
4	群馬病院	群馬県高崎市	病院 (精神科)	医療法人	小祝神社	少彦名命	2017年
5	京ヶ峰岡田病院	愛知県額田郡	病院 (精神科)	医療法人	京ヶ峰龍神	龍神	1970年
6	滝の園	茨城県土浦市	特別養護 老人ホーム	社会福祉法人	滝の園古峯神社	日本武尊	1994年

3. 研 究 結 果

3.1. 学校法人 北里研究所 北里大学北里研究所 病院 コッホ・北里神社²³⁻²⁷⁾

事業所名	北里大学北里研究所病院
所在地	東京都港区白金 5-9-1
事業の種類	病院
運営主体	学校法人
法人名	北里研究所
代表者	小林弘祐
理 念	心ある医療
創設日	1954 年 12 月 20 日 (前身の土筆ヶ岡養生園は 1893 年)
病院創設者	北里柴三郎
構造規模	鉄筋コンクリート造地上 10 階, 地下 2 階建
延床面積	24,796 m ²
病床数	329 床 (一般病床 269 床, 治験病床 60 床)
職員数	569 名

神社名	コッホ・北里神社
祭 神	ローベルト・コッホ, 北里柴三郎
神社の創設日	1911 年 5 月 27 日
神社の創設者	北里柴三郎, 北里柴三郎の門下生
例祭日	6 月 13 日

【病院沿革】北里柴三郎は、ドイツ留学中にローベルト・コッホに師事しツベルクリン療法を学ぶ。帰国後もその研究を重ねていたことが世間に広まり、治療を受けたいと希望する患者が集まるようになった。1892 年に福澤諭吉、森村市左衛門らは北里のために伝染病研究所を創立。翌 1893 年に北里は日本最初の結核専門病院「土筆ヶ岡養生園」を開設した。1914 年に北里は、国家の制約に縛られない研究実践を目指し、日本医学の発展と国民の衛生状況の改善と向上のために新たな医学研究機関「北里研究所」を創立した。1917 年に北里研究所に附属病院が創設される。

1931 年に北里が死去し、土筆ヶ岡養生園が北里家から北里研究所に寄付され、附属病院と合併する。1945 年に戦災により附属病院養生園が焼失するが、1954 年に北里生誕 100 年の記念行事として、養生園跡に附属病院を再建。1973 年に結核専門病院から総合病院へ転身。1999 年に現

在の新棟を開院。2008 年社団法人北里研究所と学校法人北里学園が統合し、学校法人北里研究所が発足し、北里大学北里研究所病院となる。

【神社の由緒】北里柴三郎はドイツ留学時に病原微生物学研究の第一人者であるローベルト・コッホ²⁸⁾に師事する。1910 年 5 月 27 日にコッホが死去し、翌日電報で訃報を知った北里は深い悲嘆にくれた。同年 5 月 31 日、北里が当時勤務していた国立伝染病研究所貴賓室にて、コッホ像を安置し花環を捧げ職員一同で追悼会を挙行し、同年 6 月 11 日には医事雑誌社発起による弔祭会に参加した。11 月 8 日に北里は国立伝染病研究所内にコッホ祠の建立を計画し、1911 年 5 月 24 日に同構内の一角に総檜作り銅板葺の祠堂（コッホ祠）を創設しコッホの遺髪を納入する納入式を行い、コッホの命日の 5 月 27 日に没後 1 年祭およびコッホ祠竣工式を挙行し恩師を偲んだ。1912 年の命日には、来日したコッホ夫人とドイツ大使、北里夫婦、令嬢、研究所・養生園職員 60 名が参列してコッホ 2 年祭が行われ、北里研究所の守護神として以降毎年コッホの命日に祭典が行われている。

1914 年に北里は国立伝染病研究所を辞任し、新たに北里研究所を創設し所長となる。「恩師の霊を国立伝染病研究所に放置するには偲びない」と 1915 年に北里研究所が竣工された際にコッホ祠を北里研究所構内に遷座し、同年 5 月 27 日の命日に没後 5 年祭と遷座祭が行われた。

1931 年 6 月 13 日に北里が死去すると、門下生らは北里の精神的墳墓は北里研究所であると考え、同年 6 月 30 日に北里の御霊入れの儀式を行い、コッホ祠の傍に北里祠を設け、コッホ祠同様毎年命日に例祭を行い、コッホ祠と共に北里研究所の守護神であり、崇敬報恩のしるしとした。

1945 年 5 月 25 日に東京大空襲の戦災により北里祠が焼失したが、難を逃れたコッホ祠に北里祠を合祀した。

1980 年に研究所本館の建物を明治村に移築し、跡地に北里本館を新築した。その際に神社は北里本館の 2 階屋上の一隅に遷座されたが、北里研究所や北里学園関係者の中から、元の場所へ戻すよ



写真 1-1 北里大学北里研究所病院



写真 1-2 コッホ・北里神社

う希望する声が高まり、1993年に当初北里祠のあった位置に近い場所に移すことになった。同年3月2日に奉告祭、同月27日に遷座祭が行われ、これを機に「コッホ・北里神社」と呼ぶこととなった。

1994年には、埼玉県北本市にある北里研究所メディカルセンター事業地（北本キャンパス）へ分祀した。

2006年には北里没後75年記念事業の一環として祠堂の修復と覆屋を修理。2015年には校舎の建て替えに伴い現在地に遷座する。2019年3月に学校法人北里研究所統合10周年事業の一環として社殿を新築し、竣工祭を行う。宗教法人の登録はしていない。

【特徴】北里大学北里研究所病院は東京都港区の北里大学の本部（白金）キャンパス内に位置する急性期の総合病院である。北里大学北里研究所病院の正面玄関の側にコッホ・北里神社が鎮座している。

神社は現在、北里柴三郎記念博物館が管理しており、法人幹部が参列し、出雲大社教の神職の奉仕でコッホの命日である5月27日に献花式が、北里の命日である6月13日に例祭が行われている。

北里柴三郎記念室事務長（当時）の森孝之氏によると、2018年の台風で神社が被害を受けたこと、学校法人北里研究所統合10周年事業の一部として、2019年3月に神社の建て替えを行い、創設以来使用していた社殿を新築した。すると、翌月の4月に北里が千円札の肖像画に起用されることになったり、白金キャンパス内の新校舎も竣工するなど法人にとって喜ばしい出来事が続き、

神祭りの大切さを感じたと言う。

神社の周りには、赤痢菌を発見した志賀潔が手植えしたしだれ桜が神社の遷座に合わせて移植されている。北里大学特別荣誉教授の大村智氏が寄贈したカラタネオガタマや菩提樹なども植えられ、神社を囲む「鎮守の杜」²⁹⁾と看板に記載されている。

北里柴三郎記念室 課長（当時）の巢瀬宏之氏によると、神社にお参りしてから病院に入っていく人がいるとのことであった。筆者が訪れた際にも、病院に通院している患者や家族と見られる人が病院に入る前に立ち寄って参拝していた。

3.2. 愛知県厚生農業協同組合連合会

安城更生病院 更生神社^{30,31)}

【病院沿革】1929年にアメリカで始まった世界恐慌は日本にも波及した。農産物価格の値下がりや医療費支出の増加で農家に大打撃を与えた中、碧海郡購買販売組合連合会（丸碧）は米穀・鶏卵の共同販売によって恐慌の被害を最小限に食い止めた。1933年10月から翌年9月の第21事業年度には35,000円余の余剰金が出て、出資金が10万円過剰になり、県から減資を勧告された。会長の岩瀬和市ら連合会幹部は、減資を行うと組合の基盤の縮小につながりかねないことから、新しい事業を開始することが得策と判断した。岩瀬は「農業の父」と呼ばれた山崎延吉と相談の上、組合立の病院の設置を行うことにした³²⁾。当時、農村医療の担い手として、産業組合法による医療利用が全国的に広まっており、岩瀬は1933年に各地の組合病院を視察している。

1934年、病院設置認可（農林省）。1935年2月11日の紀元節に病院竣工式を行い、同3月5日

事業所名	安城更生病院
所在地	愛知県安城市安城町東広畔 28
事業の種類	病院
運営主体	厚生農業協同組合連合会
法人名	愛知県厚生農業協同組合連合会 (JA 愛知厚生連)
代表者	浦田士郎
理 念	医療を通じて地域住民の健康と幸福に寄与します。患者中心の医療をあらゆる活動の原点とします。職員が誇りと喜びを持って働ける職場を目指します。
創設日	1935 年 3 月 5 日
病院創設者	碧海郡購買販売利用組合連合会（丸碧）
構造規模	本棟：鉄筋コンクリート造 地上 9 階 地下 1 階、 南棟：鉄骨造 地上 6 階地下 1 階
延床面積	88,185 m ²
病床数	771 床
職員数	1,954 名

神社名	更生神社
祭 神	天照大御神，大己貴命，少彦名命
神社の創設日	1940 年
神社の創設者	岩瀬和市？ (明記されていないが、岩瀬と見られる)
例祭日	3 月 6 日

病院開院式。同 3 月 6 日産業組合記念日に診療を開始した。山崎延吉によって「更生病院」と命名された³³⁾。「更生」とは「甦る」という意味で、地域の人々が自らの健康を自らで守るという強い意味が込められている。連合会組織による日本最初の広域医療利用組合病院として、産業組合病院の運動に決定的な転機となった重要な一石であった³⁴⁾。

創設時は内科・小児科・外科・産婦人科・眼科などをもつ総合病院で、職員は医師 7 名、看護婦 20 名、事務員 5 名であった。患者は所属組合から診療依頼証を発行してもらい、病院で診察券をもらい治療を受けた。医療費は所属組合の預金口座から差し引かれた³⁵⁾。当時医療保険が未整備であったが、治療費は丸碧からの補助で安くなっていた。創設年に開設記念講演会に招かれ講演を行った社会運動家の賀川豊彦は 1 日の入院料が親子丼 1 杯よりも安いと絶賛したという。

開院当初は病院の赤字補填のため、丸碧からの持ち出しが多く、脱退した組合が出るなど困難が伴った。しかし、利用者も増え、開院 4 年目には

経営も軌道に乗り、のちには送迎用のバスも運行するようになり地域医療に貢献していくことになった。

1940 年愛知県販売購買利用組合聯合会に移管。1942 年愛知県信用販売購買利用組合聯合会に移管。1943 年愛知県農業会に移管。1948 年愛知県厚生農業協同組合連合会に引継がれた（病床数 105 床）。2002 年の全面移転を機に「安城更生病院」に名称変更。

【神社の由緒】当院の位置する愛知県碧海郡は、1901 年に愛知県立安城農林学校の開校により先進的な農業経営が導入され、当時の小学校の教科書に「日本のデンマーク」と紹介されるほど農業が盛んで、国内外から年間数万人の視察者が訪れていた。更生神社は、「更生神社由緒記」（以下、由緒記）によると、1926 年から 1937 年にわたり久邇宮朝融王、高松宮宣仁親王、賀陽宮恒憲王、梨本宮守正王、朝香宮鳩彦王、秩父宮雍仁親王、秩父宮雍仁親王妃が視察に訪れたことを記念し、その御下賜金によって 1940 年に創設された。

祭神は天照大御神、大己貴命、少彦名命の三柱で、当時内科の島田医師が伊勢の神宮と出雲大社から神札を受けてきて祀った。由緒記には、日本民族の総氏神である天照大御神、農業振興を祈願して大己貴命、病氣平癒と健康を祈願して少彦名命を祭ったと書かれており、「永久に更生病院の守護神と崇め奉り、県民並に来院者に健康と長寿を与へ給はらんことを」³⁶⁾とあるように、病院の守護神として、県民と来院者への健康と長寿の祈願が込められている。

当初、外来棟の内科の裏庭に設置されたが、2 階の当直室からの雨漏れが不敬になるだろうと、後に 1 病棟 5 階の屋上に遷座。1975 年社殿改修、前年の台風にて社殿崩壊のため、本殿遷座祭を行い 1995 年に新築。2002 年には病院移転により新病院の中庭に新築遷座。2019 年に発展的再構築に伴う高精度放射線治療棟建設により、患者の利便性等を考慮し緩和医療センター南側の現在地に南西向きに遷座。宗教法人の登録はしていない。

【特徴】安城更生病院は 1935 年に碧海郡購買販売



写真 2-1 安城更生病院と更生神社



写真 2-2 更生神社例祭の様子

組合連合会（丸碧）が開設し、現在は愛知県厚生農業協同組合連合会（JA 愛知厚生連）が運営する、愛知県西三河南部西医療圏の基幹病院である。病院の裏正面にあたる南側出入口の側に更生神社が鎮座している。

毎年3月6日に神明神社（愛知県刈谷市）宮司野村文男氏を斎主に、院長以下職員が参列して例祭が行われている。

毎月6日には月次祭が行われ、朝8時より一部の職員が参拝しているという。安城更生病院 総務課庶務係長の川橋康彦氏によると、神社の管理は病院の総務課が担当しているが、月次祭の日は栄養科が用意した米、酒、水、塩の神饌を総務課の職員が供え、榊を替えている。月次祭の日は病院の幹部職員が始業前に随時参拝に来るとのことであった。月次祭や例祭に関して、特別に病院内で広報はしていない。3年に1度、伊勢の神宮、出雲大社、酒列磯前神社に行き神札を新たにしているという。

更生神社は病院ホームページで紹介されており、病院の外来棟2階のロビーには岩瀬和氏が米寿の時に記した卷子本形式の「更生神社由緒記」が展示しており、誰でも閲覧できるようになっている。

更生神社の社殿は神明造で、銅板の屋根の立派な造りをしている。山崎延吉により「更生神社」と揮毫された石碑と、鳥居、石の手水舎、賽銭箱があり、社殿には新しい榊が供えられていた。

更生病院に併設する老人保健施設あおみの利用者は毎年初詣に訪れているという³⁷⁾。「病の回復にご利益があるという噂を聞き、入院前にお参りがしたいと言われる方や、入院中の心の拠り所とされて毎日参拝にされる方も見えます」³⁸⁾という

ように、川橋氏によると、入院患者や家族が時折参拝しているとのことであった。

安城更生病院 院長の浦田士郎氏によると、最初に病院に来た時に神社は違和感があったが、病院を創設した地元の人たちの精神の象徴として大事にしているという。「ぼくらはこの地域の用心棒」と述べるように、この地域や病院に雇われているような意識で勤めているが、病院は職種が22種類、職員が1800名と大規模であることから、更生神社は大人数を効率的に同じ方向に向かせるための団結の象徴、守り神として、また創設の理念を思い出す機会となっているという。

安城更生病院は、運営主体が農業協同組合であるが、病院創設当初から農業共同体による公的な要素の強い病院であった。神社の由緒記より、病院の来院者のみならず、広く地域住民の健康と長寿を祈念していることから、更生神社は、農業共同体の中心的存在として創設され、職員をまとめ、創設の理念を回顧する機会や、入院患者や家族の精神的な支えになっていることが分かる。

3.3. 株式会社 互恵会 大阪回生病院 回生天満宮³⁹⁻⁴¹⁾

【病院沿革】1900年大阪市北区絹笠町の旧小城鍋島藩邸の蔵屋敷跡に私立病院を開設（104床）。大阪天満宮の氏子区域であったことから、病院の創立記念日は大阪天満宮の例祭日に合わせて7月25日とした。病院は木造3階建てで、玄関の上には天心閣という眺望閣がそびえた建物で、上水道・各室の蒸気暖房、地下室の蒸気釜、滅菌水製造器、自家発電による電燈・扇風機などを備えた当時としては最新式の病院で、患者が回生病院に

事業所名	大阪回生病院
所在地	大阪市淀川区宮原 1-6-10
事業の種類	病院
運営主体	株式会社
法人名	互恵会
代表者	土居布加志
理 念	我回生病院は之を永遠に維持し人類の疾患を救療し一視同仁博愛慈善をもって院是とす
創設日	1900 年 7 月 25 日
病院創設者	菊池篤忠
構造規模	鉄骨造 地上 13 階、地下 1 階
延床面積	23,203.05 m ²
病床数	300 床
職員数	約 800 名（委託業者含む）

神社名	回生天満宮
祭 神	菅原道真公
神社の創設日	1922 年以前：稲荷神社 1982 年 8 月 31 日：回生天満宮
神社の創設者	稲 荷 神 社：菊池篤忠？ 回生天満宮：菊池二郎
例祭日	9 月 25 日（2023 年より）

来る際には最も良い着物を着てきたという。本院創設時に看護婦養成所も同時に開設している。

1909 年 7 月に「天満焼け」といわれる北区の大火で類焼し、全焼。火災を教訓に都市での非常災害に備えて分院の必要性が検討され、1910 年 8 月、本院の再建に先立ち池田市に分院を開院。1910 年 12 月に本院が再建する。

1913 年に本館地下より出火し、再建後わずか 3 年で再び本館全焼。以後西病棟に本拠を置き従来通り診療を続ける。1915 年 7 月本館再建。

創設者の菊池篤忠は 1919 年に病院を個人経営から、在職中の一族数名による共同経営に組織変更した。しかし、第 3・5・7 代院長の菊池米太郎は、病院は数名の一族のみで行うべきではないという使命感から、1926 年に株式会社に改組した。

1966 年 12 月に大阪市大淀区（現大阪市北区）に新築移転。2005 年に現在の大阪市淀川区に新築移転する。

「回生」は創設者の菊池篤忠の菊池家が 1700 年に佐賀県で医業を開始した際に屋号として使用していたことに由来し、起死回生、よみがえらせて生命を与える、大いなる幸福、即ち永遠の生命を

与えるという意味である⁴²⁾。

【神社の由緒】病院に神社が創祀された時期は記載がないため不明であるが、当初は稲荷神社が祀られていた。『大阪回生病院沿革史』の 1922 年 3 月 25 日に「火ノ用心日に付防火宣伝『ビラ』ヲ院内ニ配布シ稲荷神社祭典執行後大阪府消防課長土井警視ノ火災予防ニ関スル講演アリ余興トシテ活動写真ヲ映写ス」⁴³⁾（原文旧字体）と記述されていることから、少なくとも 1922 年には稲荷神社が存在し、祭典が行われていることが分かる。また、同書 1923 年 3 月 21 日には「火ノ用心デーニ付稲荷神社祭典ヲ執行シ大広間ニ於テ火災予防宣伝『ポスター』ノ展観及余興トシテ浪花節アリ」⁴⁴⁾（原文旧字体）とあることから、稲荷神社は火伏せの神として信仰されていたようである。稲荷神社が病院創設時の 1900 年からあるのか、1909 年、1913 年の火災で全焼した後に創建されたかは不明であるが、病院創設前の中之島周辺は江戸時代の大名が大坂に設けた蔵屋敷が多数あり、蔵屋敷内には神社が勧請され、祭礼が行われていたようである⁴⁵⁾。大阪回生病院にあった稲荷神社は、旧小城鍋島藩蔵屋敷にあった稲荷神社を引き継いでいる可能性がある。

大阪天満宮の日誌⁴⁶⁾によると、稲荷神社の初出は 1937 年 6 月 16 日で「回生病院稲荷祭ニツキ、星見社掌・副野憲出張」と記載があり、大阪天満宮の神職 2 名の奉仕で大阪回生病院の稲荷神社で祭典を行っていることが分かる。社務日誌によると、その後 1938 年 6 月 16 日、1940 年 4 月 19 日、1943 年 6 月 4 日、1944 年 6 月 9 日に稲荷祭が行われている記述があり、前掲の『大阪回生病院沿革史』も踏まえると、毎年 3 月から 6 月頃に大阪天満宮の神職の奉仕で稲荷神社の祭典が行われていたようである⁴⁷⁾。

創立 100 周年記念誌によると、1982 年 8 月 31 日に「回生天満宮鎮座祭執行（於屋上）」、1983 年 8 月 25 日に「第 1 回回生天満宮例祭執行（於屋上）」と記載されており、1982 年 8 月に回生天満宮が創設されたことが分かる。

『企業の神社』によると、稲荷神社から天満宮にした理由は、1966 年に大淀区に移転して大阪

天満宮が遠くなってしまったこと、当時の菊池院長が、医者には日々新しい知識を身につける必要があるために学問の神様を祭らなければならないと考えたからと記されている⁴⁸⁾。

大阪天満宮の日誌には稲荷神社から天満宮へ変更した経緯は記されていないが、大阪天満宮 柳野等氏によると、大阪天満宮 宮司（当時）寺井種茂氏はライオンズクラブで大阪回生病院 院長（当時）菊池二郎氏と親交があり、1978年に菊池氏から相談があったと聞き及んでいるという。大阪回生病院 顧問（前院長）久富義郎氏も同様に話していることから、菊池二郎氏が寺井氏に相談して、大阪天満宮を分祀したようである。

【特徴】大阪回生病院は JR 新大阪駅から徒歩数分の場所に位置する、病床数 300 床の急性期の総合病院である。1900 年に創設され、2020 年には創立 120 年を迎えた長い歴史を持ち、営利を目的としない株式会社を母体とした私立総合病院である。

病院は 13 階建てであるが、5 階の屋外庭園（リハビリテーションスペース）の一角に回生天満宮が鎮座している。

毎年 8 月 25 日に大阪天満宮の神職が 2 名奉仕し、病院職員が 10 名ほど参列して小祭式で例祭を行っている。普段は病院の事務職員がお供え物をしたり、榊を替えたりしている。手術中の患者の家族がお参りに来たり、回復した患者がお礼参りをする姿が見られ⁴⁹⁾と書かれているように、時折患者や家族がお参りしている様子が見られると

いう。

院長の土居布加志氏によると、回生天満宮について院内に看板を設置したり、案内を出したりといったことはしていないが、正月に入院していて初詣に行けないという患者には神社を紹介しているという。

前院長の久富氏は「院長になってからは、毎朝、患者さんの平安と病院の繁栄を祈っています」⁵⁰⁾と雑誌のインタビューの中で答えている。久富氏によると、神社のあるスペースは外に出られて、花や緑もあり、患者の癒しの場所になっているということは確かだという。

前院長の菊池二郎氏は、「屋上の神社が医者と患者を結びつけているおほきな絆になっている」⁵¹⁾と神社の役割を評価している。

本病院の特徴として、運営母体が株式会社であることが特筆でき、共同体の中心としての一端を担っていると考えられる。

3.4. 特定医療法人 群馬会 群馬病院 小祝神社⁵²⁻⁵⁴⁾

【病院沿革】1962 年 3 月医療法人群馬会設立、1963 年 1 月群馬病院開設（総病床数 110 床）、2006 年電子カルテ・オーダーリングシステム導入、2007 年特定医療法人認可・特別医療法人認可。

【神社の由緒】法人会長の竹村紀夫氏によると、かつては正月に職員が入院患者を連れて 1 km ほどの距離にある妙見さんに初詣に行っていた。しかし、患者も家族も高齢化して外に連れ出すのが難しくなり、正月に病院に残っている患者が増え



写真 3-1 大阪回生病院



写真 3-2 回生天満宮と例祭の様子

事業所名	群馬病院
所在地	群馬県高崎市稲荷台 136 番地
事業の種類	病院（精神科）
運営主体	特定医療法人
法人名	群馬会
代表者	村山昌暢
理 念	私たちを使って下さい。プロフェッショナルな援助を心こめて提供します。
創設日	1962 年 3 月 20 日
延床面積	27,869.11 m ²
病床数	461 床
職員数	450 名

神社名	小祝神社
祭 神	少彦名命
神社の創設日	2017 年 10 月 11 日
神社の創設者	竹村紀夫
例祭日	10 月第 2 水曜日（2023 年より）

てきた。病棟の中には、職員が発泡スチロールで鳥居を作り、提灯などを置いて主治医の名前を付けた模擬神社を作っていたところもあったが、偽物だから良くないという声があがり、初詣に行けない状況が数年続いていた。神社を作れないかというニーズがあり、竹村氏自身も祈る場所が欲しいと長く構想していた。

竹村氏の母の神葬祭の縁で、竹村氏は延喜式内社の小祝神社（高崎市）宮司の西園勲氏と知り合い、神社創設の打診をしたことが契機となり、構想が現実となった。

病院では、建物や庭が洋風であることから、キリスト教の礼拝堂を建てる案もあがったものの、チャペルでは皆がお参りできないが、神社だと日本人の生活に密着していると考えた。病院のある地名は稲荷台（とうかだい）ということから、稲荷を祀ろうとも考えたが、商売のようになると良くないのではと西園氏とも相談した結果、西園氏の本務社である小祝神社を分祀し、末社として病院の敷地内に神社を創設することになった。小祝神社の祭神は医薬の神である少彦名神であったことに竹村氏は神様のお導きだと感じたという。病院は医療法人であるため、竹村氏の私財を投じて病院の南西部約 50 m²の敷地にケヤキやヒバ材などで造った社殿と、石造りの鳥居を設置し、神社を創設した⁵⁵⁾。宗教法人の登録はしていない。

小祝神社の創設以来、正月と秋の年 2 回、小祝神社本社から神職を呼んで祭典を行っている。正月の新春祈願祭は寒い時期のため職員のみで行っているが、ほとんどの患者が正月期間に初詣に訪れているという。

秋の例祭は会長、理事長、院長、副院長、病棟の主治医、看護師、患者などが参列する。院内には職員会議とポスターを掲示して告知しており、参列を希望する患者が多いが、新型コロナウイルス感染症流行後は感染症予防のため各病棟から順番で数名のみの参列に限定している。参列できない患者のために、祭典の様子は全病棟に動画で配信している。祭典終了後には病院の庭で食べ物の屋台や出し物などをしてお祭りを行っている。群馬病院では行事を出勤している職員数の多い水曜日に行うようにしており、2023 年以降秋祭りは 10 月の第 2 水曜日に行っていく予定である。

普段は病院の営繕課が神社の清掃を行っているが、患者が供えたと見られるお供え物がよく供えられているという。賽銭は 2 か月に 1 回ほど、財務課の小池拓男氏が回収しているが、その額からも患者がよく参拝に訪れているのが分かるという。

【特徴】群馬病院は群馬県高崎市の郊外の田園地帯に位置する精神科、心療内科の病院である。元は桑畑だった土地で、5 階建ての黄色の病棟と農林水産省の「全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞にも選ばれたイングリッシュガーデンが広がる、まるでリゾートホテルのような外観の病院である。法人では、デイケアやグループホーム等も大規模に展開し、2023 年には思春期病棟も開設し、北関東一の精神科病院を目指しているという。

竹村氏によると、病院には専属の庭師だけでも 3 名いるが、治療環境を整えることにも力を入れており、庭づくりによって患者の状態が安定したという。秋祭りも年々賑やかになってきて、神社の存在や秋祭りも治療構造の中にもっと取り込んでいくことができるのではないかと考えている。地域の人にも参拝してもらえよう、新型コロナウイルス感染症流行以前までは神社や庭も開放していた。



写真 4-1 群馬病院外観



写真 4-2 小祝神社例祭の様子

筆者が訪れたのは秋祭りの日で、敷地の隅の木が茂っているところに神社が祀られており、神社の前には幟が立ち、テントと参列の席が設けられていた。

午前 10 時より、院長の挨拶の後、小祝神社本社宮司西園勲氏を斎主に 2 名の祭員が龍笛と笙の楽を奏でながら祭典が始まった。病院の役員、職員、患者さんなど 100 名ほどが参列して、最後には一人一人玉串を捧げ参拝していた。

例祭に合わせ、中庭では職員の手による焼きそばや焼き鳥などの屋台が並び、入院患者やデイケアに通所している患者も大勢詰め掛け、病院を挙げて患者も職員も祭を楽しんでいる様子であった。

西園勲氏によると、例祭は群馬県内の神職に声をかけて奉仕しているが、精神科の病院での祭典に神職たちの関心も高いとのことであった。

竹村氏によると、患者にとって根底では精神的安定が必要であり、科学だけでなく最後は宗教的なものが必要になる。神様にすがること、命を永らえることができる。アルコール依存症の治療には、自分の力ではどうにもならないと思い、神にすがった時に依存症から抜けられるという体験があるように、心の病気には心の拠り所が必要であり、治療構造の中に取り込まれていくのではないかという。また、病院も一般に不祥事が起こることがあるため、そのようなことのないように神様に恥ずかしくない医療を肝に銘じて運営にあたっているという。

患者の中には毎日のように参拝している人もおり、将来的には亡くなった後に竹村氏自身や希望する職員、患者も祀れるようにしたいとの思いがある。

2022 年 2 月に西園勲氏が急逝したため、以降

は長男の西園涼一氏が妻と共に祭典の奉仕を行っている。西園涼一氏によると、患者さんたちは玉串の上げ方を確認したり皆熱心で、崇敬の篤さを感じるの、その期待に応えるよう奉仕しているという。祭典の際に、特別に龍笛と笙を演奏していることから、群馬病院での祭典に力を入れていることが分かる。

近年新たに創設された事例であり、神社が心の病を持った患者や職員などの拠り所となり、精神疾患の治療にまで関わる可能性があることが分かった。

3.5. 医療法人 芳精会 京ヶ峰岡田病院

京ヶ峰龍神⁵⁶⁻⁵⁸⁾

事業所名	京ヶ峰岡田病院
所在地	愛知県額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔 8 番地
事業の種類	病院（精神科）
運営主体	医療法人
法人名	芳精会
代表者	岡田庸男
理念	一人ひとりの患者さまの幸せのために
創設日	1938 年 4 月
病院創設者	岡田弘
構造規模	本館 3 階建、養病棟 4 階建、中央総合棟 5 階建、ソーシャルセンター、デイナイトケアセンター
延床面積	26,108 m ²
病床数	455 床（8 病棟）
職員数	377 名
神社名	京ヶ峰龍神
祭神	産土神、龍神
神社の創設日	1970 年 10 月
神社の創設者	岡田庸男
例祭日	行っていない

【病院沿革】1938年、愛知県岡崎市康生町に内科、精神科の岡田医院として創設（12床）。建物は、当時としてはモダンなスペイン風で、全室個室、開院当初から治療と社会復帰に努め、開放を方針としていた⁵⁹⁾。1945年7月19日に岡崎空襲で病室以外焼失し、戦後再建した。1946年に岡崎市羽根町に精神科、神経科として移転し岡田病院と改称（50床）。当時は精神障害者に対する偏見や、入院治療よりも隔離、隠蔽する風潮が強い中で、開放病棟を設置し、グループによる院外散歩をさせるなど、薬物療法のみには頼らず画期的な方法を採用した⁶⁰⁾。1958年岡田庸男氏が院長に就任。1968年、広大な土地を求めて農地であった現在地に移転。京ヶ峰という山の麓であることから、山名を冠し京ヶ峰岡田病院とした（407床）。1960年には精神科ソーシャルワーカーを採用、1972年には、当時県内の精神科病院にはなかったソーシャルセンター（生活療法センター）を設置し、多くの視察が訪れる。1993年には愛知県初のグループホームを開設する。2022年医療法人に改組。2023年岡田京子氏が院長に就任。

【神社の由緒】1970年10月に、病院の使命達成と無事を祈願するために、岡田庸男氏が私財を投じて創設した。小祠の位置は、土地を造成する前の手つかずの場所にした⁶¹⁾。京ヶ峰岡田病院 理事長の岡田庸男氏によると、祠は懇意の行者夫妻に依頼し、行者が京ヶ峰の龍神を勧請し京ヶ峰龍神とした。1988年9月、開院50周年を機に新築造営した。宗教法人の登録はしていない。

【特徴】京ヶ峰岡田病院は西三河エリア屈指の精神科、心療内科の病院である。広大な土地に診療、居住性、教育を3本柱とし、病院全体が治療社会になるように配慮され⁶²⁾、救急から療養までの精神科医療を担う地域中核病院である。

広い敷地で開放的な治療を行っていた友部病院（茨城県）を参考にし、患者には、食事と就寝時以外は病室から出て過ごすよう促しており、病院の敷地内は自由に移動できるようになっている。長期入院している患者が快適に過ごせるよう、ホテル的な要素を取り入れ、社会復帰のためにレク

リエーションやスポーツにも力を入れている⁶³⁾。

岡田庸男氏によると、精神科は初めから差別や偏見のある世界なので、それをなくすためにはどうしたらよいかを考えながら、患者の社会復帰のために尽力してきたという。岡田庸男氏は、医学部を卒業しインターンをしている最中に前院長の父が急逝し、若くして突然病院を継ぐことになった。当時は病院の建物が木造で、患者が吸ったタバコの火で火事にならないかと心配で眠れなかったり、うまくいかないことが続き苦勞し、自分一人では何もできないという思いから神仏の力を借りるという発想が強くなったという。人間の力には限度があり、見えない力を神の力とするとそれに守っていただくように頑張ることしか我々にはできない。信仰という核になるものがあることで、いつもの自分より優しく、強くなるような気がする。信仰を人に強要することはないが、神社を敬うと人格ができてくるという。

病院の理事長室には神棚があり、岡田庸男氏は神祭りを大切にしている。1972年からは、理事長や院長、職員や患者と共に元旦の日の出前の暗いうちから京ヶ峰の山を登って初日の出を拝み、町内の神社の初詣をする五社巡りを行っており、病院からマイクロバスを出して80名ほどが参加していた。病棟の地鎮祭や竣工祭、毎年6月と12月に猿田彦三河神社の神職の奉仕で、院内にあるソーシャルセンターで職員が参列して大祓の神事を行っている。

神社は、職員が毎月1日と15日に榊を替え、酒を供えている。創祀した行者が亡くなり、祭典等はしていないが、理事長、院長は毎朝出勤時に参拝しており、患者の中には、理事長が参拝する時間に合わせて待っていて、一緒に参拝する人もいたという。賽銭箱に賽銭が入っているの、他にも参拝する患者がいるようである。

岡田庸男氏によると、病院に神社があるのはそう違和感がないのではないかと、神社があることで返って安心感を持つ患者が多いのではないかと。京ヶ峰龍神には、患者さんに事故がなく、みんな健全で、力をいただけるよう気持ちを込めてお参りしているという。

院長の岡田京子氏は今後、神社のあるエリアを



写真 5-1 京ヶ峰岡田病院

もう少し整備して、患者の散歩コースにしたいと考えているという。

3.6. 社会福祉法人 欣水会 特別養護老人ホーム 滝の園 滝の園古峯神社⁶⁴⁻⁶⁷⁾

事業所名	滝の園
所在地	茨城県土浦市宍塚 1935
事業の種類	特別養護老人ホーム
運営主体	社会福祉法人
法人名	欣水会
代表者	佐野欣一
理 念	快適で安全な、在宅と変わらぬ生活環境の実現に努め、個々の人間性を尊重した施設体系を確立する。また、地域社会との連携を密に図り、地域福祉、ならびに老人福祉の増進に寄与する。
創設日	1994 年 6 月 20 日
施設創設者	佐野瀧夫
構造規模	鉄骨コンクリート 2 階建
延床面積	2,708.96 m ²
定 員	70 名 (うちショートステイ 20 名)
職員数	170 名
神社名	滝の園古峯神社
祭 神	日本武尊
神社の創設日	1994 年 6 月 8 日
神社の創設者	佐野瀧夫
例祭日	6 月 8 日

【施設沿革】 1993 年 7 月社会福祉法人欣水会設立認可，1994 年 6 月滝の園古峯神社創祀，同月特別養護老人ホーム滝の園施設認可（定員 50 名），2000 年 4 月介護保険法に伴う事業所指定を受ける。

【神社の由緒】 初代理事長の佐野瀧夫氏が施設を開設するにあたり，入所者，利用者，職員の身体



写真 5-2 京ヶ峰龍神

安全，施設の繁栄等を願い，何か敷地内に祀りたいと考えていたことによる。

佐野瀧夫氏は保護司をしていたが，保護司仲間の斉藤富男氏にその話をした。斉藤氏は古峯神社（栃木県鹿沼市）の講員であり，講元（講の運営の中心者）をしていたことから，古峯神社を紹介してもらい分祀することになった。古峯神社の全国唯一の分社である。

施設名は初代理事長名の「瀧夫」から「滝の園」と付けられているが，神社名は施設名を冠して「滝の園古峯神社」と名付けられ，施設の竣工に先駆けて 1994 年 6 月 8 日に創設された。

滝の園古峯神社は宗教法人の登録はしていないが，社会福祉法人の役員とは別に，神社の総代会が組織され，会則もある。総代会の目的として，会則の第 3 条には「この賛助会は滝の園古峯神社を信仰することにより，自らの福祉を自らが高め安心した日々の生活が送れるようにすると共に，滝の園の経営に協力し，高齢者福祉の増進に寄与する」と書かれている⁶⁸⁾。総代会は滝の園古峯神社の祭祀への参加や滝の園の行事への参加の他に，年に 2 回古峯神社本社に参拝に行くなどの活動を行っている。

毎年 6 月 8 日の例祭には，古峯神社本社の神職 2～3 名の奉仕により，大祭式で神事が行われる。新型コロナウイルス感染症流行以前までは祭典には施設利用者や職員のみならず，地域住民やボランティア，近隣の子供達合わせて 100 名ほどが集い，祭典終了後には津軽三味線や和太鼓，民謡等の披露が行われ，賑やかなお祭りが行われていた。

【特徴】 社会福祉法人欣水会が設置する滝の園は，茨城県土浦市の西端に位置し，東には日本第二の

湖水霞ヶ浦、西は筑波研究学園都市、北は筑波山を望む田園地帯にある。当施設は地域に根差し、地域に開かれた施設を目指し、夏祭りやカラオケ大会といった行事や地域の空き缶ゴミ拾い、草刈りボランティア、福祉シンポジウムの開催等を行い地域との交流を行っている。

滝の園古峯神社は、特別養護老人ホーム滝の園の正面の庭に建っており、本殿は木造、銅葺きの屋根、石造りの鳥居もあり、扁額に「滝の園古峯神社」と書かれている。盗難の被害に遭ってから賽銭箱は設置していないが、毎月1日と15日に職員によって榊が供えられている。

佐野瀧夫氏の長男で、法人理事長の佐野欣一氏によると、神社も地域交流の一環として機能しているという。佐野瀧夫氏と信仰についての話をしたことはなかったが、施設に神社があるということで、施設を利用するお年寄りにとって、この神社さんが守ってくれるという気持ちが強いという。佐野欣一氏は平穏無事に生活ができて、施設も通常通りであることが、神様が守ってくれているということなのではないか、神社が利用者にとっての健康でいる礎であり、心の中の守り神であれば良いという。

法人経営企画室 室長補佐の矢口すみ子氏によると、特別養護老人ホーム入所者は、原則要介護3以上で、自立歩行が困難な人も多く、普段一人で神社に参拝するのは難しい。しかし、正月には賽銭を手に、付き添いの職員と参拝する利用者も見受けられるとのことであった。

矢口氏は「東日本大震災の際、施設の建物等に若干の破損はあったものの、入所者様、利用者様、職員等、人的な被害もなく、現在まで無事に過ごす事が出来ました。又、古峯神社様は、『火伏せ

の神』とも言われており、火難からお守りくださいました」と、神社の加護のお陰で無事に過ごすことができたという。

法人事務長の大槻清一氏によると、当施設は県内でも早期に外国人労働者を受け入れていることから、職員の約6分の1にあたる30名ほどが東南アジアを中心とした外国人の職員である。中にはイスラム教徒やヒンズー教徒などの職員もいる。施設では滝の園古峯神社のお祭りなど行事の参加を強制してはいないが、拒否する職員はいないという。

本調査により、神社が利用者の健康、職員、施設の平穏無事の役割を果たしているということが分かった。

4. まとめと考察

4.1. 医療福祉施設の特徴と創設者

本研究では、調査により邸内社が病院（総合病院3か所、精神科病院2か所）5か所、高齢者施設1か所、の合計6か所あることが判明した。地域別には、関東3か所、中部地方2か所、関西1か所であった。

施設の創設順では、1954年の土筆ヶ岡養生園（北里大学北里研究所病院の前身）が最も古く（北里大学北里研究所病院の創設は1893年）、次いで1900年に大阪回生病院、1935年の安城更生病院、1938年の京ヶ峰岡田病院、1962年の群馬病院、1994年の滝の園と続く。

2023年時点で全国に病院は8,156施設あるが、開設者別に見ると、そのうち医療法人が69.4%



写真 6-1 特別養護老人ホーム 滝の園



写真 6-2 滝の園古峯神社

を占め、半数以上を占める⁶⁹⁾。本研究では、精神科病院の群馬病院と京ヶ峰岡田病院は医療法人であるが、総合病院の北里大学北里研究所病院は学校法人、安城更生病院は厚生農業協同組合連合会、大阪回生病院は株式会社、特別養護老人ホーム滝の園は社会福祉法人である。6か所しかないのに、個別性があり単純に量的な比較はできないが、全国にある病院の半数以上が医療法人なのに比べ、本調査では公益性が高く、規模の大きな病院が多いことが分かる。

4.2. 邸内社の種類

神社の創設は、北里大学北里研究所病院のコッホ祠が1911年に創設されている。稲荷神社（大阪回生病院の回生天満宮の前身）は1922年以前に創設されたと見られる（回生天満宮は1982年に創設）。1940年に安城更生病院の更生神社、1970年に京ヶ峰岡田病院の京ヶ峰龍神、1994年に滝の園の滝の園古峯神社、2017年に群馬病院の小祝神社が創設されている。総合病院のコッホ・北里神社、更生神社、稲荷神社（回生天満宮の前身）の3社が戦前期に創設され、それ以外の3社は戦後に創設されている。病院が移転した際に、それに伴い神社も遷座しているところが多い。6社とも神社の創設者が施設の創設者や代表者で、戦前生まれという共通点がある。

神社に祀られている祭神は、コッホ・北里神社は病院創設者と関わりのあるローベルト・コッホと北里柴三郎が祀られている。更生神社は、病院の利用者と開設者、医療に関わりのある天照大御神、大己貴命、少彦名命の三神が祀られている。回生天満宮は、当初は稲荷神社（ウカノミタマ?）であったが、現在は病院創立時の土地の氏神である菅原道真公が祀られている。小祝神社と滝の園古峯神社は創設者の交友関係から少彦名神、日本武尊、京ヶ峰龍神は病院の土地との関わりから龍神が祀られている。

『企業の神社』では、会社や企業の邸内社を担当記者の宇野正人は次のように3つに分類している⁷⁰⁾。

- (1) 創業者、あるいはそれに類する人の信仰する神社が祀られる場合

- (2) その立地するところの産土、氏神の神社が祀られる場合

- (3) その業種に関連する神を奉斎する神社が祀られる場合

これら6社を宇野の分類に当てはめると、重複するものもあるが次のように分類ができる。

- (1) コッホ・北里神社、回生天満宮、小祝神社、京ヶ峰龍神、滝の園古峯神社
- (2) 京ヶ峰龍神
- (3) 更生神社、回生天満宮、小祝神社

冒頭の邸内社の説明で引用したように、従来邸内社には稲荷社が多いとされる。宇野も『企業の神社』の中で、企業の神社を調査するにあたって、稲荷を祀る企業が多いと予想していたが、結果は稲荷社が全体の2、3割であり、予想に反して少なかったと述べている⁷¹⁾。本研究からも、回生天満宮の前身は稲荷社であったものの、現存する6社の中に稲荷社は存在しなかった。

先行研究では、特定の生業が特定の神を祀ることが指摘されているが、本研究での神社設立の経緯を見てみると、医療に関わりのある神の神徳を得るために祀ったのではなく、あくまで神徳は副次的なものであることが分かる。この点からも、宗教学者の岸本英夫が、神道は神々の性格より神社を中心にして発展してきており、民衆は祭神の名称や性格に関して驚くほど無知識だが、無知識のまま神道の宗教的機能が立派に果たされているところに特殊性があると述べている⁷²⁾が、本研究でもそのように評価できる。

滝の園古峯神社は神社の奉賛会が組織され、会則もあるが宗教法人格は有していない。『企業の神社』の中には、宗教法人に登録している神社が散見できるが、本研究の6社はいずれも宗教法人の登録はなされていなかった。

4.3. 神社創設の経緯、動機

コッホ・北里神社は、病院の創始者である北里柴三郎の恩師であったローベルト・コッホの死を偲んで創設された。北里の死後は門下生らによって、精神的墳墓として北里研究所の守護神であり、崇敬報恩のしるしとして祀られた。

更生神社は、皇族の視察の際の恩下賜金を基金

とし、母体である丸碧と県販売連との合併及び、皇紀 2600 年と病院 5 周年を記念して創設された。

回生天満宮は移転した際に元の氏神が遠くなってしまうという理由と、医者は日々新しい知識を身につける必要があるために学問の神様を祭らなければならないと考えられたことによる。回生天満宮の前身の稲荷神社は、火伏せの神として信仰されていたようである。

小祝神社は、初詣に行けない患者のニーズと、法人会長の構想により、私財で創設された。

京ヶ峰龍神は病院の使命達成と無事を祈願するために院長（当時）が私財を投じ、土地を造成する前の手付かずの場所に創設された。

滝の園古峯神社は入所者、利用者、職員の身体安全、施設の繁栄等を願い創設された。

これらから、神社は創設者を偲ぶ場所や、創設時を思い出す場所としての機能、構成員の無事や施設の繁栄、防火を願う意味が込められている。

企業の神社の中には、創設後の節目の時期に神社を創建する例が多く見られ、組織が大きくなることによって、経営者は会社の精神的支柱が欲しくなるからという理由と、企業が安定することで企業のカラーといえる企業の文化が安定し、その文化の表現として神社を創建するのではないかとされる⁷³⁾。本研究の事例でも、ここで指摘されていることが当てはまると考えられる。

4.4. 邸内社の現況、意義

多くの神社は施設の片隅にひっそりと佇んでおり、中には神社があるということすら案内していない施設もある。案内を出さないというのは、宗教性を出さないためという施設側の配慮もあるが、神社が施設を利用する患者や家族のためではなく、施設側のために作られたというのが第一義にあると見られる。

全ての神社は施設の職員によって管理されており、毎月決まった日に榊を替えたり、米や酒、塩や水などの供え物や清掃、賽銭の管理が行われている。『企業の神社』の中で、宇野が述べているように、企業の神社は地域の神社と比べて業務として神社の整備が行われているという指摘⁷⁴⁾は、本研究にも当てはまる。また、毎月決まった日に

職員が参拝をしたり、年に一度神職を呼んで職員が参列し例祭が行われている。いずれも神職は常駐していないが、施設側の依頼で、神職とは能動的に関わっている。群馬病院や滝の園のように、患者や地域住民を招いて大きなお祭りをしているところもあり、祭りを通して地域とのつながりも図られている。

神社のある場所には木や植物が植えてあり、「鎮守の杜（森）」のように木々や草花、鳥や虫、外の空気など自然と触れ合う場所になっているところが多い。この点から、ハンセン病療養所の神社の事例で藤本が指摘している点と重なる。患者や家族、職員が参拝する姿が見られることから、祈りを通した精神的な作用を果たしていることも分かる。

4.5. 邸内社と治療

群馬病院の小祝神社は近年できた神社であるが、祈りや心の拠り所としての神社の存在、祭りという行事を治療構造に取り込んでいこうという姿勢は注目すべきである。

「制度を使った精神療法」という、制度概念と精神療法を合わせた精神科の治療法がある。病院をはじめとする治療環境という制度を使って、精神の病を治していこうという方法論であり、思考法である⁷⁵⁾。制度を使った精神療法は、フランス語の *psychothérapie institutionnelle* という言葉の訳語で、「制度分析」という、制度の中にある問題を引き出し、言葉を与えてお互いの中に流通させ、その問題点を治していくことが行われる。

群馬病院では制度分析が行われている訳ではないし、制度を使った精神療法を意図して治療環境を整えているのではない。しかし、環境を使って病を治療していくという視点から見ると、共通する点が見えてくる。

また、京ヶ峰岡田病院の取り組みも特筆すべきである。開院当初から開放的な治療環境を意図してきており、患者は寝る時以外は居室以外の場所で生活するように斡旋され、病院の敷地内を自由に往来できるようになっている。直接神社と治療は結びついていないが、間接的には理事長の信仰心や人間観、死生観が患者の治療方針や病院の運

営方針に影響を与えている。

このように精神科病院の2施設とも、治療環境に力を入れており、神社の存在と精神科の治療が結びつく可能性を示唆している。

5. お わ り に

本研究によって、全国の医療福祉施設に邸内社は少なくとも6社あることが分かり、事業の概要、事業設立の経緯、事業の現況、邸内社の概要、邸内社の概要について調査研究を行った。その結果、医療福祉施設の邸内社には、次の役割があることが分かった。

まず、鎮守の杜（森）のように、自然に触れることのできる環境である。また、神社の創建が、施設の創設や当時の創設者たちを思い出すものとしての役割を果たしている。さらに、神社での祭を通して、施設に関わる人をまとめる際の中心的な役割や地域との関わりを作っている。そして、神社での祈を通して、病気や障害をもった患者やその家族、職員にとっての精神的な支えにもなっている。さらには、神社の存在や祭を通して、精神科治療にも結びつけることができる可能性がある。

キリスト教では、「チャプレン」と呼ばれる聖職者がいる。元来は聖遺物を収めた礼拝堂付きの司祭のことだが、現在は広く学校や病院、軍隊、監獄に属する聖職者の総称である⁷⁶⁾。本研究から鑑みると、神職は祭典の時にしか登場しない。日本ではチャプレンのような宗教者（人）を必要としたのではなく、神社という祈りの場への需要があったということが分かる。つまり、神道では神社という場が必要であり、神職は祭祀の奉仕者という役割を果たしている。これは、神道が宗教者を媒介にして教義を伝える宗教ではないということでもあるとも言える。

本事例から、医療福祉施設に設置された邸内社は様々な資源や役割を有しており、治療へとつながっていく可能性を秘めているということが分かった。そして、科学の領域である医療福祉施設と、目に見えないものである、いわゆる宗教の領域である神社は共存しているということが明らか

になった。

先行研究で石井研士は、企業が神社を祀り、祭祀を行っている様子を「行き過ぎた合理化への傾斜に対する無意識レベルの反撥」と述べているが、医療福祉施設の神社は、生命が人為的なものではなく、自然や人智を超えたものとなつがっていることを想起させる装置になっている可能性がある。

本調査で明らかになった医療福祉施設の邸内社はわずかに6社であったが、他にも2社あることが確認できており、全国の病院や施設には邸内社が存在するかもしれない。また、神社を宗教とみなしているかどうかについては更なる調査研究を行っていきたい。

謝辞 本研究は、「ターミナルケアにおける神職の可能性」⁷⁷⁾を再調査し、加筆修正したものによる。

本研究に際しまして、多くの方からのご協力を賜りました。感謝申し上げます。

本研究の一部は、令和2年度、3年度、4年度、5年度 公益財団法人 上廣倫理財団 研究助成を受けたものです。

注

- 1) 岸本英夫『岸本英夫集第1巻 宗教と人間』脇本平也、柳川啓一編、溪声社、1975年、29頁。
- 2) 平井直房「神道と福祉」神社本庁編『神道と福祉活動』神社本庁、1986年、25頁。
- 3) 井上順孝「邸内社」國學院大學日本文化研究所編『神道事典』弘文堂、1999年、184頁。
- 4) 同上
- 5) 佐藤純一「近代医学・近代医療とは何か」高草木光一『思想としての「医学概論」：いま「いのち」とどう向き合うか』岩波書店、2013年、133頁。
- 6) 佐藤純一は、現在の近代医学においては、この生物医学が支配的パラダイムとなっており、医学者・医師たちには当たり前で意識もされないため、医学内部であえて「生物医学」として取り上げて議論されることはないという。
- 7) 神社新報社編『企業の神社』神社新報社、1986年。
- 8) 同上、147頁。
- 9) 市川伊三夫「日本企業の独自性：経営者の立場から」神社新報社編、同上、115-118頁。
- 10) 神社新報社編、同上、147頁。
- 11) 石井研士『銀座の神々』新曜社、1994年。
- 12) 石井研士編『渋谷の神々』雄山閣、2013年。

- 13) 石井研士『銀座の神々』前掲書, 250 頁.
- 14) 同上, 252 頁.
- 15) 同上, 267 頁.
- 16) 同上, 275-277 頁.
- 17) 藤本頼生『神道と社会事業の近代史』弘文堂, 2009 年.
- 18) 同上, 423 頁.
- 19) 同上, 440 頁.
- 20) 愛知県立大学 教育福祉学部 教授 橋本明氏からの情報提供による.
- 21) その他 2 社確認できたが, 施設の許可が得られなかったため記載していない.
- 22) 金田伊代「神道における医療福祉関連事業」『人間・環境学』第 32 巻, 2023 年, 273-295 頁.
- 23) 2019 年 9 月 19 日に現地を訪れ, 神社を管理している北里柴三郎記念室 事務長 (当時) 森孝之氏, 北里柴三郎記念室 課長 (当時) 巢瀬宏之氏から聞き取り調査を行った.
- 24) 学校法人北里研究所 北里柴三郎記念室編『近代日本医学の先覚者: 北里柴三郎』北里柴三郎記念室, 2019 年.
- 25) 『北里柴三郎記念室』学校法人北里研究所, 2011 年.
- 26) 学校法人北里研究所 北里柴三郎記念室編『北里柴三郎: 伝染病の制圧は私の使命』学校法人北里研究所, 2012 年.
- 27) 金田伊代「医療福祉施設内における邸内社: 群馬病院 小祝 (おぼり) 神社と北里大学北里研究所病院 コッホ・北里神社」『近現代日本における「皇室と福祉事業」に関する研究会ニューズレター』第 9 号, 2019 年, 12-13 頁. を加筆修正した.
- 28) 《ローベルト・コッホ (1843~1910)》
ドイツ・クラウスタール生まれ. 開業医を務める中, 1877 年に世界で初めて細菌の顕微鏡写真の撮影に成功. 「病原細菌学」という新しい分野を開拓した世界的細菌学者. 炭疽菌, コレラ菌, 結核菌の発見者で病気と病原菌の関係を科学的に証明する方法である「コッホの要件」を発表. 1905 年に「結核に関する研究」でノーベル生理学・医学賞受賞.
- 29) 「コッホ・北里神社周辺記念樹」看板 2019 年 学校法人北里研究所
- 30) 2014 年 12 月 8 日に現地を訪れ, 安城更生病院 総務課庶務係長 川橋康彦氏, 神明神社 宮司 野村文男氏に, 2020 年 3 月 6 日に安城更生病院 院長 浦田士郎氏, 企画室長 野場篤司氏, 企画課長 細野康彦氏に聞き取り調査を行った.
- 31) 80 周年記念誌検討会『生きる力. 創立 80 周年記念誌』愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 院長 浦田士郎, 2015 年.
- 32) 安城市史編集委員会編『新編 安城市史 3 通史編 近代』安城市, 2008 年, 532-533 頁.
- 33) 同上, 533 頁.
- 34) 高島常二編『更生病院のあゆみ』安城更生病院, 1967 年, 5 頁.
- 35) 同上, 12 頁.
- 36) 岩瀬和子「更生神社由緒書」安城更生病院蔵, 1978 年.
- 37) 愛知県厚生農業協同組合連合会『いんふおめーしょんこうせい』JA 愛知厚生連 安城更生病院 広報委員会, 2012 年, 5 頁.
- 38) 同上
- 39) 2015 年 1 月 15 日に大阪回生病院 事務部総務人事課 課長 (当時) 山口健司氏, 2023 年 1 月 24 日に大阪回生病院 院長 土居布加志氏, 顧問 久富義郎氏, 2023 年 3 月 21 日に大阪天満宮 欄宜柳野等氏, 2023 年 9 月 25 日に土居氏, 久富氏, 大阪回生病院 事務部長 橋詰知弥氏, 管理事務部総務人事課 課長代理 田中淳也氏より聞き取り調査を行った.
- 40) 和田英太郎『大阪回生病院沿革史』大阪回生病院, 1924 年.
- 41) 株式会社 互惠会 大阪回生病院記念誌編纂委員会編『株式会社 互惠会 大阪回生病院創立 100 周年記念誌』株式会社 互惠会, 2000 年.
- 42) 同上, 2 頁.
- 43) 和田英太郎, 前掲書, 155 頁.
- 44) 同上, 169 頁.
- 45) 植松清志, 谷直樹「大坂蔵屋敷の年中行事と蔵屋敷祭礼について: 島原藩・佐賀藩を中心に」『生活科学研究誌』3, 2004, 55-64 頁.
- 46) 大阪天満宮蔵
- 47) 『最近 10 年のあゆみ』(創立 70 年誌)によると, 1966 年に大阪市北区から大淀区 (現大阪市北区) に新築移転した際の地鎮祭と定礎式, 竣工式について写真入りで記載があり, いづれの神事とも豊崎神社の友田宮司が斎主を務めている. 2005 年に大阪市淀川区に新築移転した際は, 地鎮祭, 竣工祭を大阪天満宮の神職が行っている. 神社新報社編, 前掲書, 112-113 頁.
- 48) 同上, 113 頁.
- 49) 同上, 113 頁.
- 50) 菊地武顕「知られざる『企業の神社』をご開帳!」『週刊文春』第 56 巻第 50 号, 2014 年 12 月 18 日号, 182 頁.
- 51) 神社新報社編, 前掲書, 113 頁.
- 52) 2019 年 9 月 18 日に現地を訪れ, 医療特定法人 群馬会 会長 竹村紀夫氏, 経営管理本部財務課 課長 小池拓男氏, 小祝神社 宮司 (当時) 西園勲氏, 2023 年 10 月 11 日に竹村氏, 小池氏, 小祝神社 宮司 西園涼一氏から聞き取り調査を行った.
- 53) 「特定医療法人群馬会群馬病院」パンフレット
- 54) 金田伊代「医療福祉施設内における邸内社: 群馬病院 小祝 (おぼり) 神社と北里大学北里研究所病院 コッホ・北里神社」, 前掲文.
- 55) 上毛新聞「群馬病院内に神社: 高崎医療や健康の神祭る」2017 年 11 月 2 日.
- 56) 2023 年 6 月 16 日に現地を訪れ, 京ヶ峰岡田病院 理事長 岡田庸男氏, 院長 岡田京子氏, 事務局長 竹中秀彦氏, PSW 部部長 佐野明子氏, 参与 伊奈日出夫氏, 2023 年 8 月 28 日に岡田庸男氏, 岡田京子氏, 総務部長 鈴木英史氏から聞き取り調査を行った.

- 57) 『京ヶ峰の麓に：開院 50 周年記念誌』京ヶ峰岡田病院 岡田庸男, 1991 年.
- 58) 開院 80 周年記念誌編集委員会編『開院 80 周年記念誌』京ヶ峰岡田病院, 2019 年.
- 59) 開院 50 周年記念誌委員会「50 年のあゆみ」前掲書, 『京ヶ峰の麓に：開院 50 周年記念誌』前掲書, 4 頁.
- 60) 同上, 5 頁.
- 61) 同上, 116 頁.
- 62) 同上, 6 頁.
- 63) 開院 80 周年記念誌編集委員会編, 前掲書, 33-35 頁.
- 64) 2014 年 12 月 19 日に現地を訪れ, 2023 年 10 月 12 日に社会福祉法人欣水会 理事長 佐野欣一氏, 法人事務長 大槻清一氏, 法人経営企画室 室長 補佐矢口すみ子氏より聞き取り調査を行った.
- 65) 社会福祉法人欣水会パンフレット
- 66) 『滝の園：設立 10 周年記念誌』社会福祉法人欣水会 特別養護老人ホーム滝の園, 2005 年.
- 67) 『社会福祉法人欣水会 創立 20 周年記念誌：欣水会 20 年の歩み』社会福祉法人欣水会, 2014 年.
- 68) 社会福祉法人 欣水会所蔵
- 69) 厚生労働省「令和 4 (2022) 年医療施設 (動態) 調査・病院奉告の概況」厚生労働省ホームページ, 2023 年 (2024 年 2 月 25 日取得, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/22/>)
- 70) 神社新報社編, 前掲書, 10 頁.
- 71) 同上
- 72) 岸本英夫, 前掲書, 59-60 頁.
- 73) 神社新報社編, 前掲書, 161 頁.
- 74) 同上, 146 頁.
- 75) 多賀茂, 三協康生編『医療環境を変える：「制度を使った精神療法」の実践と思想』京都大学学術出版会, 2008 年, i-iv
- 76) 八代崇「チャプレン」山折哲雄監修『世界宗教大事典』平凡社, 1991 年, 1250 頁.
- 77) 金田伊代『ターミナルケアにおける神職の可能性』京都大学大学院修士学位論文, 2015 年.

Role of Shrines in the Hospital

Iyo KANEDA

Graduate School of Human and Environmental Studies,
Kyoto University, Kyoto 606-8501 Japan

Summary The treatment of illness has had a close relationship with religion since ancient times, and Japanese history shows that Buddhism and Christianity have been involved in medicine and welfare. Yet Japan's traditional religion Shinto, has not developed social programs like them.

Some hospitals and nursing homes throughout in Japan have shrines. In order to clarify whether modern medicine, which assumes modern science, and shrines, which assume the existence of gods and spirits, can coexist, this study conducted a survey of shrines located within hospitals and welfare facilities nationwide to determine how they were founded and their actual status. We also explored what role shrines play and could play for people with illnesses and disabilities.

As a result of the survey, we found six shrines located within medical and nursing homes. These shrines were found to serve the following roles: as an environment where people can come into contact with nature, like a Chinju forest; as an opportunity to remember the founding of the facility; as bringing people involved in the facility together through festivals; as spiritual support for patients, families, and staff with illnesses and disabilities through prayer; and as a link to psychiatric treatment. Prayer played a role in bringing together people involved in the institution, in providing spiritual support to sick and disabled patients, their families, and staff, and in connecting them to psychiatric treatment.

From these examples, it became clear that medical welfare facilities, which are in the realm of science, and shrines, which are in the realm of religion, coexist. They may also serve as devices that unconsciously connect human life to nature and to things beyond the human hand, rather than to artificiality.

Keywords: hospitals, nursing home, shrines